

【協働実践助成】

# 仙台市内の産前産後子育て支援のための プラットフォーム構築事業

一般社団法人子育てプラットフォームMaRU  
はっぴーすまいるまま

# 1. 事業実施団体の概要

## 一般社団法人 子育てプラットフォームMaRU

### <団体の目的>

子育て支援に携わる女性3人を中心に2021年12月に設立。

宮城仙台の子育て世帯の孤立、孤育てを減らし、地域資源への「つながり」による支援を考え、「子育て世帯」「子育て支援者」「地域企業」をつなぐプラットフォームとなれるよう事業を展開。

### <これまでの取り組み>

子育ての居場所づくり「サードプレイス」の運営、子育て支援講座、イベントの企画運営、子育て情報誌発行、マタニティBOX制作、インストラクター養成など

## はっぴーすまいるまま

### <団体の目的>

2009年発足。仙台市子育て支援活動団体に登録。13年に渡り、宮城県内で親子のふれあいを伝えるサロンを独自開催する他、県内の幼稚園保育園、子育て支援施設での講師活動、母親への育児相談を行う。コロナ禍に活動を中断。2023年に「おやこふれあいサロン」などの活動を再開。

### <これまでの取り組み>

親子ふれあいサロン、子育て支援事業への講師活動、母親への育児相談など

## 2. 令和5年度の実施内容

### (1) 課題の把握

平成31年3月子ども・子育てに関するアンケート調査  
(仙台市に居住する就学前児童の保護者9,000人)

家族構成	両親または ひとり親と子ども	87.7%
子育て 支援事業 利用状況	利用していない 利用している場合 月2~3回程	59.9%
子育てに 関する 悩み	子育ての出費 教育に関して 食事や栄養 自由時間がもてない	40.2% 33.0% 32.9% 32.5%
相談 できる人	配偶者や親族が 保育士や職場の人 仙台市子育て関連の窓口	80% 20% 5%

「子育てに身よる体の疲れが大きいこと」(24.1%)など  
子育てによる時間的・身体的な影響に関する悩みも多くなっている

令和2年  
仙台市出生時数

7920人  
うち宮城野区は1,694人

- ☑仙台市内には核家族世帯が多い
- ☑支援があるが利用しない世帯も多い

<10年間の利用者の声から>

- ☑他県出身の子育て世帯も多い
- ☑孤独で孤立した子育てを感じている

「コロナ禍」→ ライフスタイル変化  
「支援自粛」→ 人との関わりが減少  
「在宅生活」



**父親母親ともに居場所支援が必要との声**  
**産前から地域と繋がり**  
**継続的循環的支援が必要**

## 2. 令和5年度の実施内容

### (2) 事業の目的

#### 【最終的に目指す姿】

産前産後一貫型のコミュニティづくりの仕組みを構築し  
地域に暮らす子育て世帯自身の子育て支援者の役割を担い  
循環したコミュニティづくりを形成、循環型の子育て支援を行う

#### 【令和5年度事業の実施により目指す姿】

産前からの親子の居場所づくりを提供  
ヒヤリングやアンケート調査を実施し、現状、課題を追及  
「お互いが知る」産前からの「子育てフェスティバル」を開催する

#### 【審査会でのご意見から】

事業実施にあたり関係機関や地域住民へ十分な説明を行い開催する  
年間を通して、感染症対策を十分に行い開催する

## 2. 令和5年度の実施内容

### (3) 令和5年度事業の目標

#### 産前 マタニティクラス開催

【会場】 親と子のサードプレイスぽぽらす  
【年間参加人数】 5～8名×6か月＝30～48名（50名程度）

#### 産前 マタニティBOX制作

【配布場所】 親と子のサードプレイスぽぽらす  
【配布個数】 100人分 産後の母親と共に制作、配布

#### 産後 はっぴーすまいるまま おやこふれあいサロン開催

【会場】 仙台市内各所  
【年間参加人数】 15組×6回＝90組（親子180名程度）

#### 産後 コミュニティづくり（子育て支援者講座等）

【会場】 親と子のサードプレイスぽぽらす、出前会場 等  
【年間参加人数】 10組×12か月＝120組（親子240名程度）

#### 産前産後 子育てフェスティバル開催

【会場】 仙台市内 【参加者】 500名  
【協賛者】 企業10社、ママ出店10名、支援講演4名

#### 【年間目標数】

利用親子  
**1,000名**  
(妊婦含む)

連携  
子育て支援者  
**10名**

地域企業連携  
**10社**

産後ママ協力  
**10名**

## 2. 令和5年度の実施内容

### (4) 事業の実施体制

#### 一般社団法人 子育てプラットフォームMaRU

- ・マタニティBOXの制作運営
- ・産前産後のコミュニティづくりの企画、運営、開催
- ・地域企業との連携

#### はっぴーすまいるまま

- ・仙台市内各所でのサロン開催
- ・ふれあい遊びの講師活動
- ・コミュニティづくりの運営

## 2. 令和5年度の実施内容

### (5) 事業スケジュールについて

- 4月 年間スケジュール決定と発信
- 5月 マタニティBOX配布開始/サロン開催
- 6月 マタニティBOXプロジェクト実施
- 7月 フェスティバル開催/サロン開催
- 8月 フィードバックの集計、統計まとめ
- 9月 マタニティクラス開催/サロン開催
- 10月 BOXプロジェクト報告会
- 11月 マタニティクラス開催/サロン開催
- 12月 次年度のフェスティバル打ち合わせ
- 1月 マタニティクラス開催/サロン開催
- 2月 マタニティBOX配布状況の確認
- 3月 マタニティクラス開催/サロン開催

### (6) 使用経費について

事業費総額 166万円

#### 収入内訳

仙台市助成金 150万円  
団体自己負担 16万円

#### 支出内訳

・ 人件費 40万円  
・ 講師料旅費 35万円  
・ 会場使用料 25万円  
・ 印刷広報費 31万円  
・ 消耗品費 30万円  
・ その他 5万円

# 3. 令和5年度事業の実施状況

令和5年度事業の実施状況について

## 産前 マタニティクラス開催

【会場】 親と子のサードプレイスぽぽらす

【目標人数】 5～8名×6か月=30～48名（50名程度）

### 【実施状況】

- 赤ちゃんのお風呂とスキンケア講座
- 産前産後骨盤調整ヨガ など



4～10月 参加者 15名程度

### 【参加者の声】

「お産の準備で気になっていたことが解決できた」  
「2人目出産だからこそ聞きたい事を相談できた」  
「身体の疲れがとれた、楽になった」 など



# 3. 令和5年度事業の実施状況

令和5年度事業の実施状況について

## 産前 マタニティBOX制作

【配布場所】 親と子のサードプレイスぽぽらす

【配布個数】 100名分 産後の母親と共に制作、配布

### 【実施状況】

■7月に完成7月29日より配布開始

■産後の母親と封入作業を行う



7月 8個 / 8月 10個 / 9月 11個 / 10月 15個

計 44名分 制作配布

### 【参加者の声】

妊婦「いろんな情報、沢山の者が詰まっていた」  
妊婦「あたたかい気持ちも詰まっている。想いに共感」  
産後ママ「妊婦さんを一緒に応援できて嬉しい」など



# 3. 令和5年度事業の実施状況

## 令和5年度事業の実施状況について

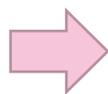
### 産後 コミュニティづくり（子育て支援者講座等）

【会場】 親と子のサードプレイスぽぽらす、出前会場 等

【年間参加人数】 10組×12か月＝120組（親子240名程度）

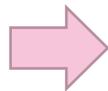
#### 【実施状況】

- コミュニティづくり  
あかちゃんの日  
転勤族ママの会  
パパの会 など



4～10月  
参加者 84組  
（親子168名程度）

- 独自または講師を招いてのイベント  
お誕生日会  
離乳食相談会（栄養士）  
防災減災講座（防災士）  
リトミック  
歯の相談（歯科衛生士）  
くつえらび勉強会 など



4～10月  
参加者 96組  
（親子192名程度）

#### 【参加者の声】

ママ「色々なママのお話がきけてよかった」「同じ悩みを持つ人と話せた」  
パパ「家でもできる遊びを知ることができた」「パパ友ができた」 など



# 3. 令和5年度事業の実施状況

令和5年度事業の実施状況について

## 産前産後 子育てフェスティバル開催

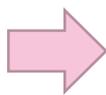
【会場】 仙台市内 【参加者】 500人  
【協賛者】 企業10社、ママ出店10人、支援講演4

### 【実施状況】

■特別講演（大阪より）

### 【参加者】

宮城県民 44名  
他県民 5名（青森、山形、東京）  
子育て支援者 9名（宮城、福島）



**参加者  
58名**

### 【参加者の声】

「育児に対する考えた方が変わった」

「赤ちゃんとたくさんコミュニケーションを  
とって向き合っていきたいと思いました」

「子どもや奥さんとの関わり方をより一層考えるきっかけになりました」など



# 3. 令和5年度事業の実施状況

令和5年度事業の実施状況について

## 産前産後 子育てフェスティバル開催

【会場】 仙台市内 【参加者】 500名  
【協賛者】 企業10社、ママ出店10名、支援講演4名

### 【実施状況】

7月 仙台市中小企業活性化センター多目的ホール

### 【参加者数】

来場人数	450名	子育て支援者	2名
協賛企業様	6社	産後ママ	1名
ママ出店	23名	学生ボラ	6名
講演	3名		

### 【調査状況】

事前入場予約アンケート 320件  
来場アンケート 160件 \* 現在集計中

### 【参加者の声】

「育児相談が出来たりしてリフレッシュになった」  
「ブースがたくさんあって子供とともに楽しめた」  
「SNSでしか繋がっていなかった出展者同士交流ができ、今後につながった」 など





# 3. 令和5年度事業の実施状況

令和5年度事業の実施状況について

**産後 はっぴーすまいるまま おやこふれあいサロン開催**

【会場】 仙台市内各所

【年間参加人数】 15組 × 6回 = 90組 (親子180人程度)

## 【実施状況】

5月31日	宮城野区榴岡	11組
7月29日	青葉区	20組
9月20日	若林区荒井	11組
11月29日	泉区七北田	15組 (事前予約)

**計 57組 (親子114人)**



## 【参加者の声】

「色々なふれあい遊び、ベビーマッサージができて良かった」

「子どもと一緒に時間を楽しめた。ママ同士お話できる時間があってよかった」

「子どもの楽しそうな笑顔がみれて良かった。月齢の近いお友達と触れ合えた」



# 3. 令和5年度事業実施状況

令和5年度事業の実施状況について

年間目標数

利用親子  
**1,000人**  
(妊婦含む)

子育て支援者  
**10人**

地域企業連携  
**10社**

産後ママ協力  
**10人**

マタニティBOX  
**100名分**

中間報告数

利用親子  
**997人**  
(妊婦含む)

子育て支援者  
**8人**

地域企業連携  
**8社**

産後ママ協力  
**15人**

マタニティBOX  
**44名分**

目標数まで

利用親子  
**3人**  
(妊婦含む)

子育て支援者  
**2人**

地域企業連携  
**2社**

産後ママ協力

マタニティBOX  
**56名分**

# 3 令和5年度事業の実施状況

## 今後の事業展開と課題

### 【マタニティBOXプロジェクト】

- ・妊婦からヒヤリングアンケートの収集し、妊娠期の課題の収集
- ・BOX内のプレゼント品の利用状況を把握し地域情報へつながっているかの確認
- ・次年度以降の個数や、協賛品などの受付をスタート

### 【産前産後一貫型循環型子育て環境の構築】

- ・妊娠期のコミュニティづくりの充実
- ・仙台市内の地域支援情報や産後に役立つ講座の開催
- ・仙台で子育てすることへの心強さ、楽しさ、安心感を感じられる環境の構築

### 【地域づくりへの参加】

- ・仙台市内の地域や企業と一体となった子育て支援

### 【父親向け子育て支援】

- ・父親のためのコミュニティづくり、育休中の過ごし方、共働き世帯の居場所づくり
- ・これからの時代のニーズにあった子育て支援のモデルづくり
- ・共働き世帯が子育て・仕事・家事を共に両立できるライフワークバランスの支援